

# 創造の森

鶴岡第五中学校 学校だより 校長室より

## 学校生活、生徒の活動の様子 『この3ヶ月を振り返って』 その1

4月8日（金）の始業式、入学式からおおよそ3ヶ月を過ごしました。この間、生徒総会での今年度の方針の決定、3年生の修学旅行、1・2年生の学年活動（地域学習・職業体験）、田川地区総体などを通して、学年・学級・部活動等への所属感やねらいや目標を持ちながら活動することを大切にしながら過ごしてきました。日常の授業、学校生活を充実させながら、頑張っている生徒の姿が多く見受けられます。その一方で課題もあります。

### ◎学習面 「自ら学ぶ」ことを通して「課題解決力」を身に付ける

これまでは、全員に家庭学習〇ページと指定し提出を求めてきましたが、今年度より、各教科から出る課題以外に行う、家庭学習ノートの提出は任意とすることにしました。提出してくれた生徒については学級担任がこれまでどおり個々の頑張りを認め、評価・アドバイスするようにしています。また、学びの足跡カードというものを準備し、週ごとに自分の家庭での学習の取り組みを振り返ったり、見通しを持ったりすることができるようにしています。様々な教科からの課題もある中で、自ら課題意識を持って計画的に取り組むことは、大変なことだと思います。しかし、こうした取り組みを自分で行うことが理想であり、3年生になったときに受験勉強に自然と向き合うことができる姿勢づくりにもつながります。さらには、高校や社会に出てから目の前の課題や仕事を解決することに役立ちます。今、各所で求められているのが「課題解決能力」というもので、自分を高めるために、自分自身に「課題を課す力」のことです。

得意なことやできることだけを繰り返しても「学力」は向上しません。家庭学習〇ページの提出を求められていたときは、知っている漢字やできる計算問題を何回も書いてノートのページや行を埋めるだけのもの…。それでは学力は向上しません。まず「今の自分の課題」を実感・把握することが必要であり、もっとも大事なことです。例えば、今日の授業で理解できなかったことや不十分だったことがある…という実感や把握をすること。そして、それを自分の課題として受け止め、教科書や授業のノート、タブレットを見ながら「自分なり」に「振り返り」をしてみる。ある程度理解できている場合でも、教科担任から「大事」「ポイント」といわれたところをもう一度まとめ直してみる…など、自分の力を「確実」「強力」「十分」なものにするために、「自らの課題」を設定し勉強すること…、それが鶴岡五中で求めている学習の進め方です。

この取り組みは、「与えられた課題（宿題）」に、「自分自身の課題」の「 $+\alpha$ 」をすることです。大変なことかもしれませんが、この「 $+\alpha$ 」の取り組みが「資質・能力」「学力」の確実な習得・向上につながります。実際にこの3ヶ月間、普段の授業や第1回定期テストに向けた取り組みの様子を見たときに、課題を提出できず「居残り学習」をしているという生徒も見受けられました。これには間違いなく「 $+\alpha$ 」は期待できない状況です。はじめてのことに取り組むのは大変なことですが、継続することはもっと大変です。でも「 $+\alpha$ の取り組み」に「チャレンジ」する意識を持って続けることが大事です。これまでの3ヶ月間の学習状況を振り返り、今後の取り組み方、心構えなどについて家庭でも話題にしてください。

（文責：校長 2022.7.4）

# 創造の森

鶴岡第五中学校 学校だより 校長室より

## 学校生活、生徒の活動の様子 『この3ヶ月を振り返って』 その2

### ◎生活面 「規律ある生活の習慣化」「学級の所属感…居場所づくり」

この3ヶ月間で取り組んできたことは、初発指導の徹底、特に「規律ある生活の習慣化」を図ることです。1年生であれば、中学校生活に慣れること、そして自分自身の判断で生活できるように習慣化することを念頭に指導してきました。2・3年生であれば、自分の立場や役割を自覚し、学年や学級に対する所属感をもって生活できるようにしていきます。そうした自覚や居場所を見出していく中で、学級の班活動、部活動、委員会活動など、所属する場を増やしていき、またそれに応じた所属感を広げ、鶴岡五中の生徒としての自覚を持てるようにしてきました。そうした中で、集団生活の約束や時間を守り、周囲に対する気配りや礼儀を大切にしながら、新たな関係づくりを通して「規律ある生活」を送ることができるように指導しています。この3ヶ月間の様子として、新しい学年、学級で頑張ろうとしている気持ちが感じられるし、お互いを気遣って生活している姿もうかがえます。その具現の場として、3年の修学旅行、1・2年の学年活動（地域学習・体験活動）、田川地区総体に向けた活動などがあげられます。どの活動においても「規律ある行動をする」「礼儀を大切にすること」「時間や約束を守る」ことを意識し活動しています。今後は、「テスト結果」や「いじめアンケート」、「総体の結果」などを踏まえ、個々の課題や考えを大切にしながら指導していきます。

### 生活面（生徒指導面）で変更したこと〔確認事項〕

- ①女子でスラックスを着る場合はネクタイを着用する。  
〔今年度は移行期としリボンも可〕  
スラックスにはネクタイを着用することをセットとします。  
「スカートにはリボン」
  - ②半袖運動着の色  
「白」だけでなく「グレー」「ネイビー」も可となります。  
汗染みや運動着の下に着るものの透けを目立たなくするためです。
  - ③半袖運動着の裾を外に出してもよいことにします。〔熱中症対策〕  
年々暑い日が増えてきています。裾を出すことで内にこもる熱を放射でき、幾分涼しさを感じることができます。
  - ④Yシャツの下に着るシャツ（Tシャツやキャミソールなど）  
「白」「ベージュ」「グレー」とします。  
白Yシャツと同系統の濃さとし、ワンポイント可。衛生面から運動着とは区別してください。
- ※①～④は初発指導で生徒に確認済みです。運動着については注文書なども配布済みです。詳しくは販売店にお問い合わせください。すでに購入して着用している生徒も見受けられます。（文責：校長 2022.7.5）

# 創造の森

鶴岡第五中学校 学校だより 校長室より

## 学校生活、生徒の活動の様子 『この3ヶ月を振り返って』 その3

### ◎健康・安全面 健康で安全な生活を「実践する」生徒の育成

健康で安全な生活を送ることは、学習や生徒指導の土台となるものだと考えています。中学生には、自らの健康や安全を管理しつつ、周りの人のことにも気を配ることができる人であってほしいと期待します。この3ヶ月間も新型コロナウイルス感染症の予防対策に取り組んできました。徐々に緩和の方向に動いていますが、大勢の人が集まる「学校」という特性を考えると「密集」「密接」を回避することはなかなか難しい状況にあります。そうした中、熱中症対策の観点からも「登下校」「体育の授業」「部活動」ではマスクを外すという方針が打ち出されています。特に、登下校中は管理・指導する者がいないところで、生徒たち自身が「2m」「会話なし」などを判断し実行することが求められます。生徒のみなさんには、自分の健康だけでなく他者の健康や安全にも気を配ることが求められていることを認識し、その実行者及び地域民の一人だという自覚を持ってほしいと思います。

また、地域の皆様からは「自転車の乗り方」「道一杯に広がって歩いている」「民家・所有地等の敷地内を通行している（たむろしている）」などの情報が寄せられています。鶴五中生に対する見守りや感心（関心）の目があってこそこのことと感謝しております。特に、自転車の乗り方では「一時停止」「並列走行（車や歩行の妨害）」などについてご指摘いただき、休日の使用の場合もあるようです。「広がって歩く」「敷地の通行」は登下校の際の様子のようなようです。学校に情報を提供いただければ声掛けや個別指導も可能ですが、ぜひ、地域の目があるということを印象付けるため、その場で地域の方々から声をかけていただくこともお願いしたいと考えます。例えば、そのような声掛けに対して「反抗する」「声をかけたのに聞く耳を持たない」といった生徒がいましたら、そちらの方が大きな指導対象と受け止めます。「素直さ」「改善する気持ち」を身に付けた生徒を地域の皆様とともに育てていきたいと考えています。

以前、今年度の学校経営方針をおたよりでお知らせしました。そこにも示しましたが、私は「あたたかく、一生懸命な学校」を創っていきたくと表明しています。そのためには「鶴岡五中で生活する教職員・生徒が、あたたかく、一生懸命な人」でなければいけないと思っています。学習指導・生徒指導・健康安全指導に関わって様々な成果と課題を感じています。この3ヶ月の様子から感じたことをまとめましたが、学校も子どもたちも「地域の中で育つ」ものだと思っています。保護者・地域の皆様と諸課題を共有し、改善・解消に向け共に取り組んでいきたいと考えています。

(2022.7.6 文責 校長)